

G1皐月賞2023 全頭診断書

・前走傾向

前走が重賞で6人気以内5着以内(3着以内馬23頭/24頭が該当)

前走がOP別定の場合は1人気1着

前走上り5位以内(22頭/24頭が該当)

・重賞実績

3着以内馬19頭/24頭には重賞勝ちの実績が有りました。

重賞勝ちが無かった5頭は・・・

1. G1で4着
2. 重賞に3度出走して全て3着以内
3. 前走の重賞でタイム差無しの2着
4. OPリステッド競走で2勝
5. 前走の重賞で1人気2着(上り最速)

上記のような実績を持っておりました。

・血統傾向

(父の傾向)

ディープインパクト産駒が最も優秀でしたが、
他のディープ系種牡馬産駒は今のところ馬券に絡んでおりません。

現状ではキングマンボ系の期待値が優秀で、
父か母父にキングマンボ系を持つ馬に注目です。

(スパイス血統)

ナスルーラの血、特に欧州型ナスルーラの血に注目。
4L系統にサンデー系の血を持つ事は必須。

・消えた1人気

休み明け2走目のポカ

牝馬で1人気

前走でG1勝ち以外の1人気は連対無し。

今週末の中山は雨の予報が出ており、土曜日に30ミリ程度、日曜日もぐずついた天気になる見込みで、今年は雨の影響が残る馬場での開催となりそうな気配でございますな。

その上、ハイペース型逃げ馬グラニットが消耗戦ラップを演出すれば、直線は我慢比べとなりそう。

血統面では、持久力や消耗戦での持続力を強化された配合馬に警戒が必要になるのではないかと考えております。

馬名	父	父母父	母父	祖母父
ウインオーディン	エピファネイア	Tサンデー系	フジキセキ	ニジンスキー系

キャリア4戦全てがスローペースの瞬発戦ラップで、減速率の高い消耗戦は未経験でございますな。ロベルト系の父と、消耗戦に強い母父フジキセキ、そして祖母の父が欧ニジンスキー系という配合から、上り時計を要する馬場や展開でパフォーマンスを上げる可能性は否定できません。

ただ、実績面では好走傾向に当てはまる所がなく積極的に狙いたいと言う程の評価には至っておりません。

血統評価:注意

前走評価:C

重賞実績:C

馬名	父	父母父	母父	祖母父
グラニット	ダノンバラード	ミスプロ系	フサイチコンコルド	ノーザンD系

G3サウジアラビアRCの2着は、超前有利馬場に恵まれたもの。

前走は、ダノンバラード産駒が好む重い馬場で、内有利馬場に恵まれながらも踏ん張りきれずに4着に甘んじる結果に終わり、底が見えた印象ですな。

血統評価:C

前走評価:D

重賞実績:C

馬名	父	父母父	母父	祖母父
グリューネグリーン	ラブリーデイ	Tサンデー系	スペシャルウィーク	プリンスリーG系

キャリア5戦で先行出来た2戦は勝っており、

前に行けなかった3戦では凡走しております。

一応、重賞勝ち馬であり、デムーロ殿から石川殿に乗り替わる事で
前で競馬出来るようなら変わり身を見せる可能性も。

従兄弟のサンリバル(父ルーラーシップ)が
皐月賞で先行して9人気2着と激走しており、
同じキングマンボ系種牡馬を父に持つ本馬も
激走の可能性を秘めております。

血統評価:B**特注**

前走評価:E

重賞実績:B

馬名	父	父母父	母父	祖母父
シャザーン	ロードカナロア	ストームバード系	マンハッタンカフェ	ダンチヒ系

母のクイーンズリングは非根幹距離の馬でございました。

本馬も前走は2200mのOPリステッドを勝っており、

この短縮ローテは、過去に11頭が出走して全滅している
鬼門のローテでございますな。

血統評価:C

前走評価:E

重賞実績:なし

馬名	父	父母父	母父	祖母父
ショウナンバシット	シルバーステート	ロベルト系	米サドラーズ系	ヴァイスR系

キャリア5戦全てで先行して上り2位以内の実績。

ただ、5戦全てが前有利馬場に恵まれていたので、
過大な評価は慎みたいところではございます。

ただ、上り時計の掛かる馬場でメンバー上位の上りをマーク出来ている事は
今回想定される馬場では強みになるかも知れません。

血統構成からも、我慢比べの持久力戦に向いており
一応の警戒は必要になるかも知れません。

血統評価：B(雨馬場想定)

前走評価：C

重賞実績：なし

馬名	父	父母父	母父	祖母父
セブンマジシャン	ジャスタウェイ	ニアークティック系	サドラーズ系	ヴァイスR系

母の半姉にG1馬のノームコアとクロノジェネシス。

G1ホープフルSは「超前有利馬場」「前有利展開」で差し届かず。

2走前のG3京成杯は直線で不利を受けて3着。

前走は13人気の逃げ馬グラニットが4着に粘れる展開で、

内有利馬場の外枠から追込みの競馬で6着。

毎回、何かしらの不利に見舞われており、
まだ見限るのは早計かもしれませんな。

展開や馬場に恵まれれば馬券圏内があって驚けぬ存在。

血統評価：B

前走評価：C+

重賞実績：C+

馬名	父	父母父	母父	祖母父
ソールオリエン	キタサンブラック	プリンスリーG系	サドラーズ系	ブラッシングG系

父はパワータイプのキタサンブラック。

母父はタイトルホルダーと同じモチベーター(欧サドラーズ系)

スパイス血統のナスルーラ系を2本持っており

雨馬場ウエルカムの配合馬でございますな。

不安材料は、キャリア2戦と言う経験不足と
小頭数しか経験がないという点でございましょう。

先週の桜花賞でも、2人気のライトクオンタムが、
初めての多頭数競馬で内枠に入って揉まれ、
道中はずっと暴れ馬状態となって惨敗致しておりました。

あとは、牝系が早熟型ではなく、ディープ産駒の半兄が
重賞を勝てたのは4歳の秋と、むしろ晩成の家系で、
あまり人気するようなら、敬遠したくなる存在でございます。

血統評価:B
前走評価:B
重賞実績:B

馬名	父	父母父	母父	祖母父
タスティエーラ	サトノクラウン	ミスプロ系	マンハッタンカフェ	ヴァイスR系

晩成血統の象徴とも言えるカンパニーを出した牝系出身馬。
皐月賞は完成の早い馬が強いレースで、ちょっとイメージが違いますな。

父が欧州型ノーザンダンサー系というのも
皐月賞で決して有利に働く血統では無く、
少し押し材料に欠けると言うのが正直なところ。

血統評価:D
前走評価:B
重賞実績:B

馬名	父	父母父	母父	祖母父
タッチウッド	ドゥラメンテ	サンデーS	アドマイヤムーン	ニジンスキー系

母の半兄に2歳・3歳重賞で6度馬券に絡んだローレルゲレイロ。
きさらぎ賞2着のリキサンマックス。
母もファンタジーS好走馬で、早熟色のある牝系出身馬でございませぬ。

今や、ディープインパクトよりもクラシックで信頼感のある

ドゥラメンテを父に持つ事も好材料と申せましょう。

また、前走「共同通信杯」で連対した馬が、
過去8年で4勝を挙げており、臨戦過程にも好感が持てます。

キャリアが2戦という事と
重賞を含めOPクラスで勝っていない事が
本馬の不安材料でございますな。

血統評価：A

前走評価：A

重賞実績：C

馬名	父	父母父	母父	祖母父
ダノンタッチダウン	ロードカナロア	ストームバード系	デインヒル	エタン系

半兄ダノンザキッド(父ジャスタウェイ)は皐月賞で
1人気を裏切り15着に終わりましたが、休み明け2走目のポカと
レースの上り3Fが37秒を要した重い馬場が敗因と思われます。

本馬の場合は、レースの上りが36秒以上を要した
ハイペースの消耗戦となったG1朝日杯で僅差の2着に好走しており、
今回は休養明け(ノーザンファームしがらき仕上げ)での参戦。

前走で厳しい流れを経験した事は、
経験値として他の馬よりも有利になると考えられます。

2F(400m)の距離延長が鍵となりそうですが、
牝系ファミリーの2000m実績は複勝率51.7%
複勝回収率195%と、マイル戦よりも期待値が高く、
母系の特性を引き出す種牡馬ロードカナロアの産駒ですので
特に心配はないと考えます。

ただ、最大の不安材料は、
サンデー系の血を全く持っていない事。

もし、本馬が馬券に絡めば、馬場改修後の2015年以降
初めての「非サンデー系」の馬券絡みとなります。

血統評価:C

前走評価:B

重賞実績:B

馬名	父	父母父	母父	祖母父
トッパナイフ	デクラレーション0W	ブラッシングG系	ヌレイエフ系	リポー系

ダンチヒ系種牡馬の産駒らしく、先行しての粘り腰が本馬の売り。

内回りの2000m重賞で3連続2着と、小回り適性の高さも

ダンチヒ系種牡馬産駒らしいところ。

ただ、サンデー系の血を持っていない事と、

キャリア8戦と使いすぎの感がある点がかかなりの不安材料。

皐月賞過去8年データでは、キャリア6戦以上の馬は

34頭が出走して1頭も馬券に絡んでおりません。

(前走重賞勝ち馬6頭も全滅しております)

血統評価:C

前走評価:B

重賞実績:B

馬名	父	父母父	母父	祖母父
ファントムシーフ	ハービンジャー	ネイティブD系	米サドラーズ系	ダンチヒ系

祖母はアイルランドの2000mG1勝ち馬で、

牝系ファミリーは、欧米のG1活躍馬がずらりと並ぶ名牝系。

ただ、サンデー系の血を一滴も持っておらず、

スローペースでしか勝てていない事と、

3勝全てが馬場傾向に恵まれた結果である事が

不安材料と申せましょう。

血統評価:D

前走評価:B

重賞実績:B

馬名	父	父母父	母父	祖母父
フリームファクシ	ルーラーシップ	グレイS系	スペシャルウィーク	欧ミスプロ系

半姉に秋華賞馬ディアドラ。

他にも牝系ファミリーからは、NHKマイル2着ソングライン

ダービー馬ロジユニヴァースといった3歳G1活躍馬が出ております。

先行タイプのルーラーシップ産駒は、

上り時計の掛かる馬場や展開にも強く、

グラニットがハイペースで逃げてくれれば

願ってもない展開となるのではないかと想像いたします。

今回休み明けとなりますが

ノーザンファームしがらきで順調に仕上げられたようで、

最終追いの栗東坂路ではソダンと併せて先着。

鞍上がレーン殿というの大きな押し材料でございますな。

血統評価:A

前走評価:B

重賞実績:B

馬名	父	父母父	母父	祖母父
ベラジオオペラ	ロードカナロア	ストームバード系	ハービンジャー	サンデーS

祖母の全弟エアシャカールは皐月賞・菊花賞を勝ち、

ダービーでは2着と言う「準3冠馬」でございます。

祖母の全姉エアメサイアは秋華賞馬でオークス2着。

他にも、G1好走馬が多数出ている良血牝系の出身馬でございますな。

前走のG2スプリングSは重馬場で、レースの上り時計が

37秒2と減速率の高い消耗戦でございました。

前走が1800mの重賞で連対していた馬が

最も多く勝ち星を挙げており(過去8年で6勝)

臨戦過程としては文句なしでございます。

また、今回は鞍上が横山武⇒田辺の乗り替りになりますが

この乗り替りパターンは中山2000mにおける「超鞍上強化」で複勝率は75%に及びます。

血統評価: B+
前走評価: A
重賞実績: A

馬名	父	父母父	母父	祖母父
ホウオウビスケツ	マインドユアビスケツ	ヴァイスR系	ルーラーシップ	ディーピンパクト

キングカメハメハを出したマンファス牝系の出身馬。
米国型ノーザンダンサー系×キングマンボ系×サンデー系
この配合は、今年の優勝馬ジオグリフと共通しております。

前走が1800m重賞で2着と言うのもジオグリフと同じで、
難癖をつけるなら、重賞での勝鞍が無いという事でしょうか。

ただ、近2走はいずれも馬場傾向が不利だった結果で、
恵まれれば更に高いパフォーマンスを見せる可能性も。

体型的には母父ルーラーシップの影響が強く出ており、
いかにも持続型の中距離馬と言ったイメージで、
皐月賞の舞台は前走以上に合っているように思います。

血統評価: 特注
前走評価: B
重賞実績: C

馬名	父	父母父	母父	祖母父
マイネルラウレア	ゴールドシップ	トウルビヨン系	ヘイロー系	欧ミスプロ系

キャリア2戦で重賞経験無し。
血統構成にも牝系ファミリーにも特筆すべき点はございません。

血統評価: C
前走評価: C
重賞実績: なし

馬名	父	父母父	母父	祖母父
メタルスピード	シルバーステート	ロベルト系	シャマーダル	キングマンボ系

祖母マイの配合がキングズベスト×サドラーズウェルズで、この配合は種牡馬ワークフォースと同じでございますな。

前走スプリングSが重馬場の1800mへの距離延長で8人気3着と言う結果は、ワークフォースの適性を思わせるもの。

OPクラスで勝ち星がなく、キャリアは既に7戦と、好走傾向には全くマッチしませんが、どさくさ紛れの3着程度ならあり得ぬ事ではないかも知れませんな。

血統評価:注(雨馬場)

前走評価:C

重賞実績:C

馬名	父	父母父	母父	祖母父
ラスハンメル	シルバーステート	ロベルト系	キングカメハメハ	ストームバード系

前走の若葉S2着は、前有利馬場で前残りの展開に恵まれた結果。それでも勝てなかった事を考えると、評価する訳に参りませぬな。

血統評価:C

前走評価:D

重賞実績:なし

馬名	父	父母父	母父	祖母父
ワンダイレクト	ハービンジャー	ネイティヴD系	ディープインパクト	フェアリーキング系

祖母はスプリンターで母はマイラーでございました。

体型は母譲りのマイラー体型で、距離短縮で買いたい馬。

上り時計を要する2000mは、この馬には長いと見ております。

血統評価:C

前走評価:C

重賞実績:C